

I 灘区の現状と課題

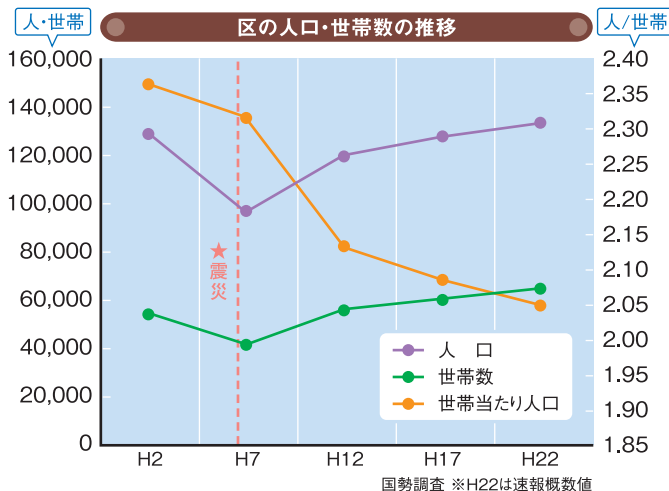
データで見る灘区

1 人口・世帯構成人数

■ 灘区の人口は、平成21年に13万人を超えました。ここ数年は毎年1,000人程度増加しています。

国立社会保障・人口問題研究所による灘区の推計人口は、2025年まで増加が予測されています。

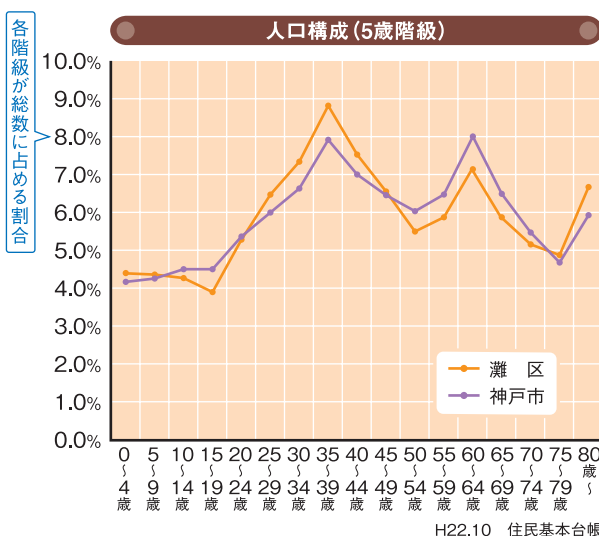
■ 世帯構成人数は、小家族化がさらに進んでいます。
(平成22年：2.05人/世帯)



2 人口構成・昼夜間人口

■ 人口構成として、25～44歳が全市平均より多くなっています。

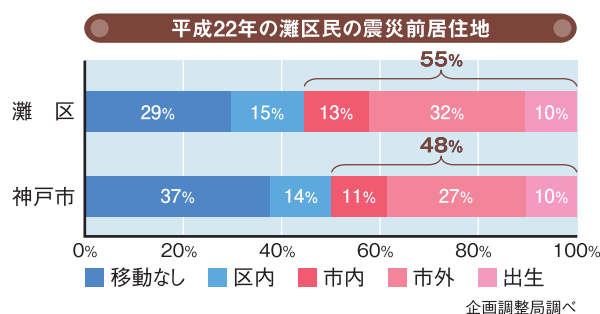
■ 平成17年に昼間人口より夜間人口が多くなりました。(昼夜間人口比率：98.4)



3 震災後の区民

■ 新築マンションの増加などに伴う市外や市内他区からの転入や出生により、震災後に新たに区民になった人は、5割を超えています。

■ 新たに転入された人を含むコミュニティづくりが課題となっています。

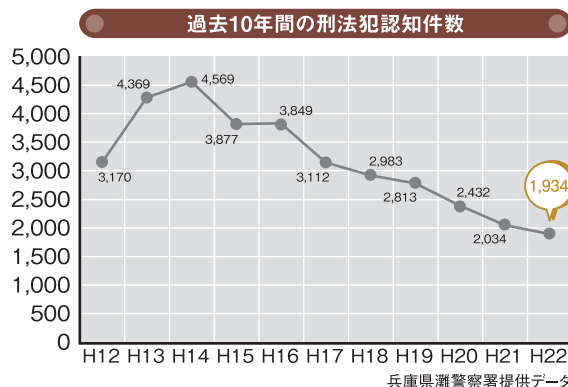


注) 端数処理の関係で、個別に積上げた構成比の合計は100%になっておりません

4 刑法犯認知件数

■ 刑法犯認知件数は、減少傾向にありますが、車上ねらい・オートバイ盗・自転車盗などが多い傾向にあります。

■ 防犯に対する地域での一層の取り組みが必要となっています。

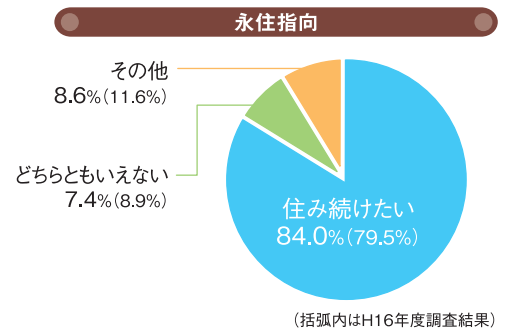
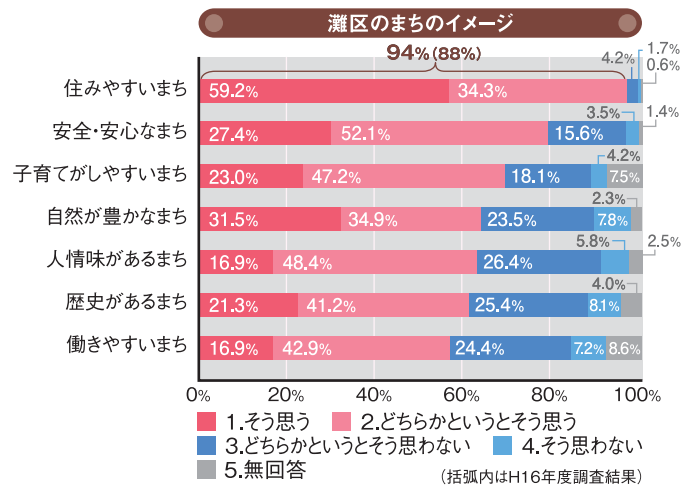


アンケート(H21年1月実施)に見る区民の関心

① 灘区のまちのイメージ:住みやすいまち

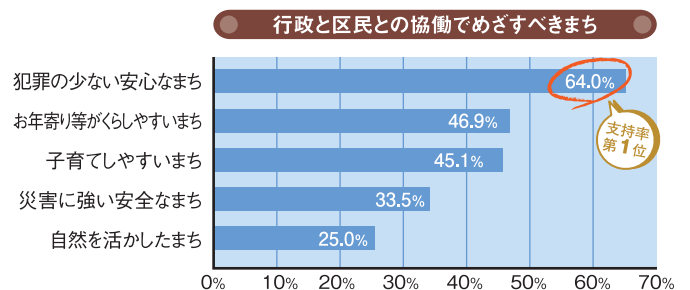
- 灘区のまちのイメージについては、「住みやすいまち」というイメージが強く、前回調査(平成16年度)より6ポイントアップし、94%となっています。
- その他「安全・安心なまち」、「子育てがしやすいまち」、「自然が豊かなまち」というイメージの順になっています。

- 永住指向は、前回調査(平成16年度)より5ポイントアップし、84%となっています。居住地として高い評価を得ています。



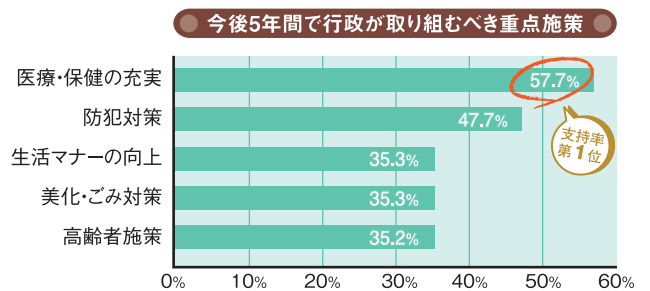
② 行政と区民との協働でめざすべきまち

- 「犯罪の少ない安心なまち」が最も多く、「お年寄り等がくらしやすいまち」、「子育てしやすいまち」と続いています。



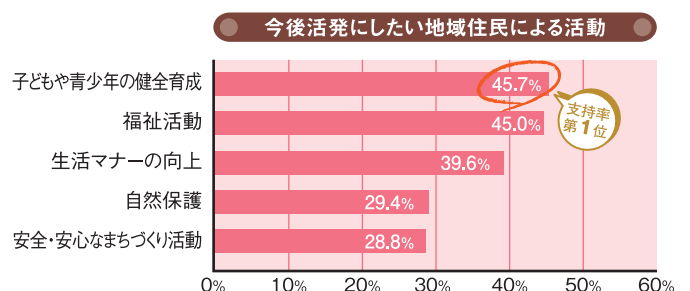
③ 今後5年間で行政が取り組むべき重点施策

- 「医療・保健の充実」や「防犯対策」に対する期待が高くなっています。



④ 今後活発にしたい地域住民による活動

- 「子どもや青少年の健全育成」や「高齢者や障がい者の生活を支える福祉活動」が多く、「生活マナーの向上」と続いています。



⑤ 伸ばしていくべき魅力資源

- 「六甲山・摩耶山の自然」(70%)が圧倒的に多く、「桜の名所」(36%)、「文化施設」(34%)と続いています。